

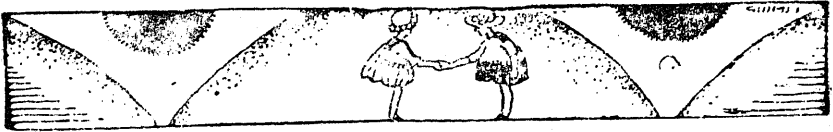


偶 感

東京女子高等師範學校長

吉 岡 卿 甫

本年十一月、天皇陛下御一代一度の大禮が行はれる。吾等臣民は滿腔の赤誠を以て之をお祝ひ申上げると共に、益々其の本務に奮勵して國運の發展に資するところがなければならぬ。吾等の本務は幼兒を保育するに在る。幼兒期は人の一生を通じて最も感受性の強い時期である。吾等は吾等の幼兒に與へる感化が次代の國民の資質に至大の影響を及ぼすことを思ひ、常に幼兒の心身を健全に發達させ、善良な性情を涵養するに於て、最善を盡さなければならぬ。明治天皇の御製には其の題材に幼兒又は幼兒の教育をお取りになつたのが多い。其の中次の御製は特に吾等をお諭しになつたものとして、日夜之を拜誦したいと思ふのである。



國のため力つくさむわらはべを

教ふる道に心たゆむな

すなほにもおほしたてなむいづれにも

かたぶきやすき庭のわか竹

朝夕にまもり育つるをしへ子は

うみの子のごとかなしかるらむ